

あしたもともだち

幌延町 小規模・複式教育研究部会

令和2年度 幌延町 小規模・複式教育研究部会の活動

1. 研究主題・活動方針・体制等

(1) 研究主題

『自ら未来を切り開く子の育成』

～学びのサイクルを通じて～2年次目/3年計画

(2) 方針等（これまでの成果や課題から）

- これまでの成果をもとに、目指す子ども像に迫る指導法を追究する。
- 極小人数の学校であることの利点や課題を踏まえて研究を推進する。
- 新学習指導要領の目指す方向が本校の研究と深く関わることから、年度計画の途中であるが新たなテーマを設定し深めていく。

(3) 内容

- 小中の学力向上プラン、連携の方策等を全職員で研修・共有し、教務や研究が中心となってロードマップを策定
- 学校全体の健康安全体力プランを養護教諭が中心となって策定。また、情報を掲示し数値的な「見える化」を図る。
- 一人1校内研究授業の実施
- 小、中の垣根を越えた「わたり」における、支援学級担当者の支援 等

2. 令和2年度当初の活動計画

- 4月 校内研究全体計画検討
5月～ 小中先生方1人1回の校内授業研究、学期ごとの反省
10月 指導主事訪問特設授業研究
1月 研究のまとめ

3. 実施した活動・様子等（経緯含め）

- 4月 研究計画提案
5月 計画に基づく取組、日程当等確認
7月 小4、5年 校内研究授業（体育）
小支援学級 校内研究授業（算数）

- 9月 1学期の成果・課題、今後の計画確認
10月 中2、3年 校内研究授業（音楽）
11月 小4、5年 校内研究授業（算数）
中3年 校内研究授業（国語）
(兼 指導主事訪問特設授業)
1月 校内授業研究及び研究のまとめ
小1、2年 校内研究授業（道徳）
中2、3年 校内研究授業（数学）
2～3月 次年度研究の方向性提案・紀要作成

<その他>

- ZOOM等ICT通信を活用し、幌延小、幌延中とのWEB授業交流を実施。

4. 成果・課題・次年度の計画等

(1) 成果・課題

- 全ての先生による校内研究授業を実施
- 研修主題及び仮説の解明を意識しながら、指導案の作成や検討を行った。
- 学習活動を通して児童生徒の主体性を高める授業づくりを推進できた。
- 事後協議の時間等調整が合わない時があり、アンケート等紙面交流になった回があった。

(2) 次年度に向けて

- 研究計画年度最後なので、これまでの小中共通の基盤づくりのもと深化・充実を重点に。
*学びの振り返りを生かし、見通しをもって学習活動を進めていける授業等。
*発達段階に応じた効果的な思考力の向上を図る手立て。
• 全員の一人1校内研究授業を継続し、教員の指導力など資質向上を図る。